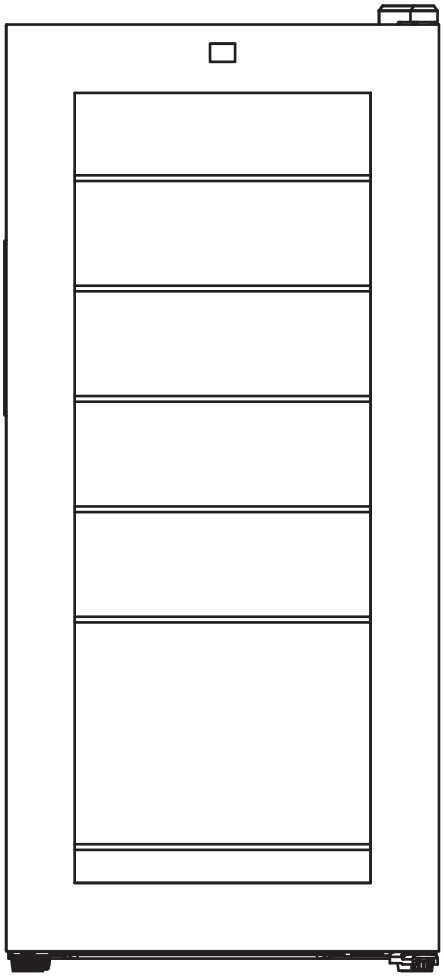
Lefier

取扱説明書

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏側についています。



Wine Cellar

ENTRY18

ワインセラー 18 本収納

目　次

安全上の注意 ……P1-2
設置場所について ……P3
各部の名称と使い方 ……P3-4
コントロールパネル操作方法 ……P5
ワインの収納方法 ……P5
お手入れのしかた ……P6
故障かな？と思ったら ……P7
その他 注意事項 ……P8
製品の主な仕様 ……P9
保証書・お問合せ先

この度は、ワインセラー『ENTRY18』をお買い求めいただき、ありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みいただき正しくお使い下さい。お読みになった後は、大切に保管して下さい。

ワインセラー移動後の電源プラグ差し込みは24時間経過するまでお待ちください。

安全上の注意

ご使用の前によくお読みいただき、正しくお使いください

取扱説明書には、製品をお使いになる方や他の人への危害と財産への損害を
未然に防ぎ、安全にお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。
表示と内容をよく理解してから本体をお使いください。
取扱いを誤った場合、人が死亡または重症を負う可能性や、
物質的損害の発生が想定されます。

絵表示の例

記号は、警告の意味をあらわします。必ず指示に従って下さい。従わないと怪我や損害に結びつきます。	記号は、禁止の意味をあらわします。記載内容は行わないで下さい。	記号は行為を強制したり指示する内容をあらわします。図の中に具体的な指示内容が描かれています

⚠ 設置上の警告・禁止事項

警 告

水平で丈夫な床に設置する

不安定な場所や高い台の上などに設置をすると、本体の転倒により故障やけがの原因となります

警 告

地震などによる本体転倒防止の処理をする

転倒し、けがや故障の原因となります

警 告

ワインセラー本体の背面に燃えやすいものを近づけないで下さい

背面下部にある冷却機は運転中、熱くなります

警 告

冷媒回路を傷つけない

ガスが漏れ発火・爆発のおそれがあります

警 告

本体周囲を囲んでしまわない

熱がこもると、冷却の妨げや故障の原因となります。設置の際は、前面開放と背面・左右・天井部に 5cm 以上の放熱スペースを空けてください

警 告

本体に布をかぶせない

放熱の妨げとなり、冷却力の低下を招きます。また、引火などの恐れもございます

禁 止

屋外で使用しない

屋内での使用を前提に設計しております

禁 止

直射日光の当たる場所への設置や放置をしない

本体の変質や変形、また爆発の恐れがあります。また冷却力の低下を招き電気代のムダが生じます

禁 止

分解・修理・改造をしない

火災・破損・感電・けがの原因となることがあります。また、不当な修理・改造などにより、故障や損傷があった場合は、保証の規定外となります

禁 止

風呂場など高温・多湿・結露する場所、その他水のかかる場所には置かない

ショートや感電、故障の原因となります

⚠ 電源についての警告

警 告

電源は AC100V（50/60Hz）で定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する

他の電源に接続したり、たこ足配線をすると、火災・感電の原因となります

警 告

電源コードを傷つけない

束ねる、折り曲げる、加熱する、重い物を載せる、本体で押し付ける、加工する、その他無理のかかることをすると、発火し、火災や感電、故障の原因となります

警 告

電源プラグの差し込み口に、ほこりがついたまま使用しない

絶縁不良になり、過熱や火災、故障の原因となります

警 告

傷んだコードや電源プラグ・コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電やショート、火災の原因となります

警 告

異常時や故障の際は、すぐに電源プラグを抜き、運転を停止する

煙が出たり、異常なにおいや音がした状態で運転を続けると、火災・感電・けがの原因となります。運転を停止し、販売店に御連絡下さい

警 告

長期間使用しないときは、プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります

⚠ 使用時の警告・禁止事項

警 告

引火しやすいものを入れたり、本体近くに置かない

エーテル、ベンジン、接着剤、アルコール、ガソリン、シンナー、薬品、ＬＰガスなどは、爆発や火災の原因となります

警 告

都市ガス･LPガスなどのガス漏れがあったときには、ワインセラーや電源プラグに触れず、窓を開けて換気する

引火･発火し、火災･やけど･けがの原因となります

禁 止

棚板を同時に2枚以上引き出し、ワインを並べない

一度に2枚以上引き出すと、重みで本体転倒の恐れがあり、けがや本体故障の原因となります

禁 止

本体の上に液体の入った容器や重い物を置かない

こぼれた水などでショートを起こし、漏電や火災の原因となります。また落下してけがをする原因となります

禁 止

可燃性スプレーを、近くで使わない

引火して火災の原因となります

禁 止

ワイン以外は保存しない

生き物、医薬品や学術資料等の温度管理が厳しいもの、生鮮食品･冷凍食品･アイスクリームその他食品は庫内に入れないでください

禁 止

本体や開けた扉に乗ったり、強い衝撃を与えたりしない

本体が倒れたり、手を挟んだりして、けがの原因となります。また本体の故障の原因となります

禁 止

お子様や不慣れな方だけで使用したり、乳幼児の手の届くところで使用しない

けがや感電、故障の原因となります

禁 止

1枚の棚に無理にワインを積み重ねたり不安定な状態で保存しない

ワインが落下し、けがや故障の原因となります

禁 止

背面の機械室を手で触れない

運転中は熱くなるので、やけどやけがの原因となります

⚠ お手入れ時の警告

警 告

お手入れのときは電源プラグを抜く

感電やけがの原因となります。また、濡れた手でプラグを抜き差ししないでください

警 告

本体をアルコール、シンナーなどの薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしない

塗装を傷つけたりプラスチックを痛めたり、また本体のひび割れ･感電･発火の恐れがあります

設置場所について

■ 床が丈夫で水平な場所に設置してください

※ワイン収納時はかなりの重量となります。
※きしみや傾きのある不安定な場所に設置すると転倒の恐れや、振動や騒音の原因になります。
※本体がガタつくときは、調節脚を回して水平になるようにして下さい。
　重量物の為、作業の際は十分ご注意ください。
※じゅうたん、カーペット、ビニールタイルなどの上に直接置くと跡がつくことがあります。

■ 直射日光の当たる場所や高温多湿・低温低湿の場所は避けてください

※室温が高い場所では冷却力が低下します。
※直射日光の当たる場所は、冷却を妨げる原因となるだけではなく、ワインにもダメージを与えます。
　また、熱効率が悪くなり電力の浪費の原因にもなります。
※コンロや電子レンジなど放熱の可能性がある器具の近くに設置しないでください。
※湿気の多い場所や水のかかる場所への設置は避けてください。
　サビや故障、感電や漏電の原因となります。
※極端な環境下に設置されますと設定温度が維持できない場合があります。

■ 危険物・可燃性のあるものから本体を離して設置してください

※特に背面下部の圧縮機は熱くなりますので、カーテンなど可燃性のあるものの近くは避けてください。

■ 放熱スペースを必ず空けてください

※本製品は庫内を冷やすために、冷却ユニットから熱を放出します。
　放熱のためのスペースを必ず確保してください。
　放出された熱が逃げず、本体にこもると故障や冷えない原因となります。
　また壁材によっては変色などの恐れがございます。
※設置の際は、前面開放し、左右・背面・上部に必ず放熱スペース各5cm以上確保してください。
※本製品は、ビルトイン対応ではありません。

■ 扉前にスペースをお取り下さい

※扉が120°開くよう扉前に十分なスペースを確保してください。

■ 高地などでは使用しないでください

※気圧の変化によりガラスにヒビが入ったり、割れる恐れがございます。

■ 電源コードはセラー背面のどの部分にも接触しないようにしてください

■ 延長コードの使用やタコ足配線をしないでください

■ 土間やコンクリートの床、地下室・洗い場など水分がつく恐れがある場所での使用時は、アースをお買いもとめいただき、必ずお取り付け下さい。

■ 冷媒回路（配管）を傷つけない

※ノンフロンガスは可燃性ですが密閉されており、通常漏れる心配は御座いません。万が一、冷媒回路を傷つけてしまった場合は、火気や電気製品の使用を避け、窓を開けて十分な換気を行って下さい。

各部の名称と使い方

① ぬるま湯を浸してよく絞った布で、セラーの外側・庫内をきれいに拭く

※最初はプラスチックの臭いがしますが、使用とともに薄れてまいります。
※拭いた後は、乾拭きをお願いします。

② 棚板についているテープを外す

③ 設置から 24 時間後以降に電源コードを差し込む

※本体を移動させた際は、24 時間以上置いてから通電させてください。
※交流 100Ｖ15Ａ以上の単独コンセントにしっかりと差し込む。
※延長コードの使用やタコ足配線をしないで下さい。

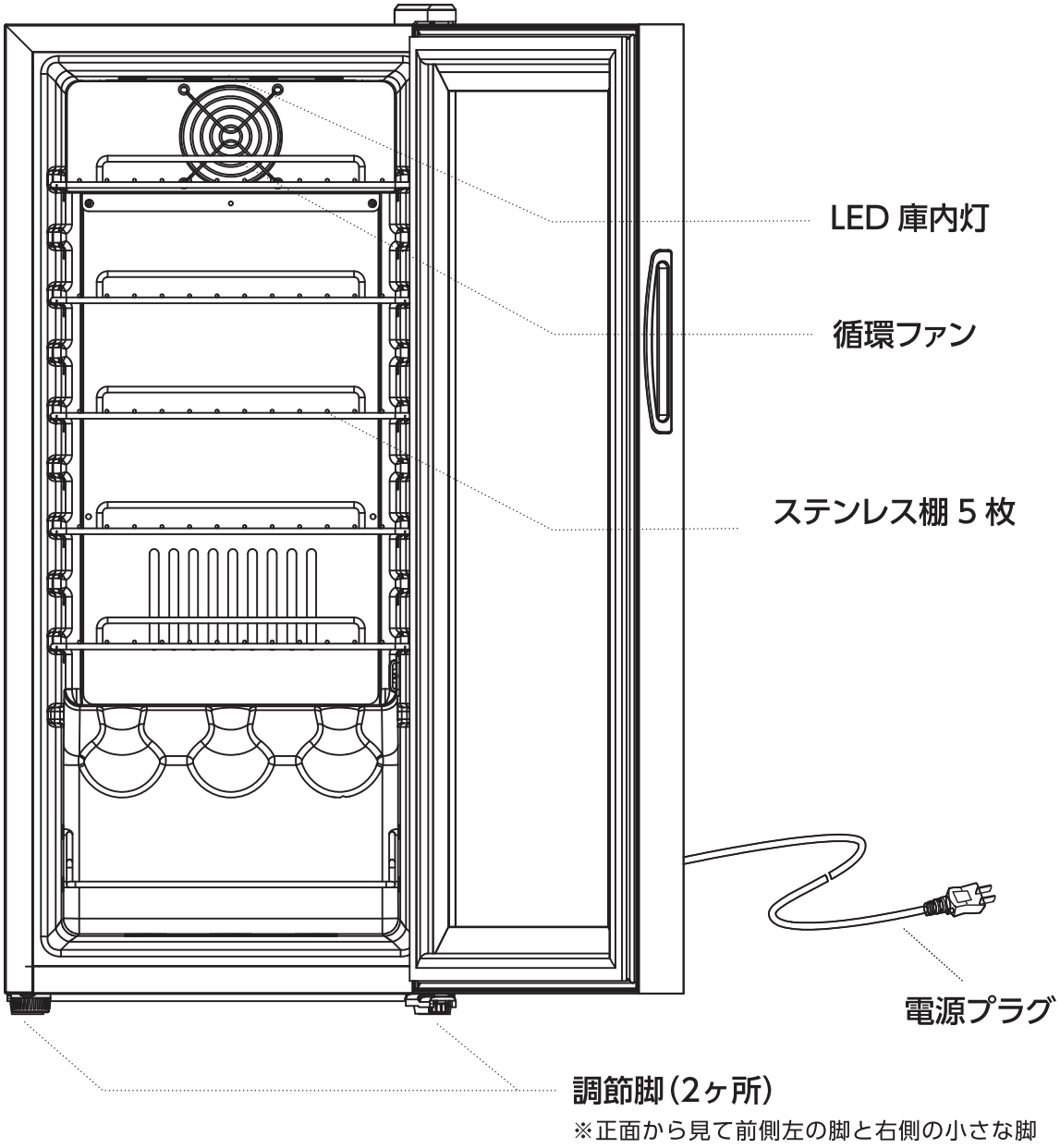
④ 中央上部にあるコントロールパネルで庫内温度を設定する

※操作方法は 5 ページをご参照ください。

⑤ 庫内が冷えた事を確認してからワインを収納する

※庫内の温度は、周囲の温度や扉の開閉・ワインの出し入れに影響されます。

各部名称



棚の取り外し

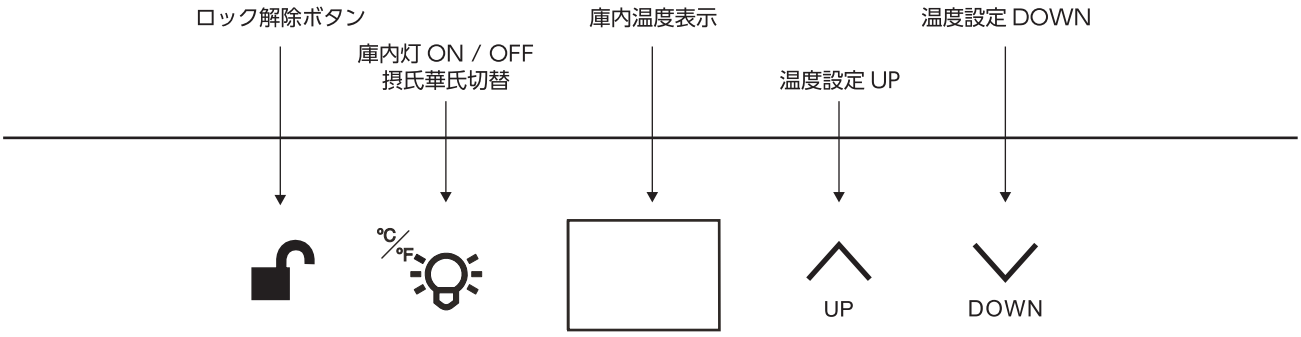
■ 棚の奥側を少し上げ、そのまま引き出すと棚が取り外せます。

※太い形状のワインを収納される場合は、棚板を抜いてご使用ください。

※庫内壁面にワインが触れないよう収納ください。壁面には結露水がついており、
ワインに水分がついてしまいます。

※庫内奥の壁は特に温度が下がりますので、
接した状態で保存されるとワインが低温劣化する恐れが御座います。

コントロールパネル



■ コントロールパネルのロック解除

※コントロールパネルは通常ロックがかかっています。(💡(電球)ボタンのみロックがかかりません)
ロック解除ボタンを2秒間押し続けるとロックは解除されます。操作後20秒経過すると自動でロックがかかります。

■ 庫内温度の設定

※庫内温度は温度設定ボタンを押すことにより5℃～18℃の間で設定可能です。
🔓(ロック)ボタンを2秒間押し続けるとロックは解除されます。操作後20秒経過すると自動でロックがかかります。

■ 庫内灯点灯

※ 💡(電球)ボタンを押すと庫内灯のON/OFFが出来ます。(ロック中も操作可能)
※庫内灯は10分経過すると自動で消灯いたします。

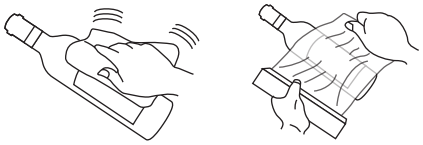
■ 摂氏華氏の切替

※ 💡(電球)ボタンを2秒押し続けると切り替わります。(ロック中も操作可能)

ワイン収納方法

■ ワインを収納する前に

※ワインボトルを乾拭きしてから入れてください。
※カビの発生やラベルの濡れや剥がれを防止するために、
ラベル部分にラップ類を巻いて保存されることをお勧めいたします。



■ 寝かせて保存

※コルクが乾かないよう、ボトルは横に寝かせて保存してください。
但し、一度栓を開けたボトルやコルクのゆるいボトルは、横に寝かせないで下さい。

■ 同時に 2 枚以上の棚板を引き出さないで下さい

※ワインと扉の重みで本体が転倒する恐れがございます。

■ 扉の開閉

※ワインに振動を与えないように、扉の開閉はゆっくり行ってください。

■ガラスに衝撃を与えないよう注意する

※ボトルや硬いものをぶつけると割れてしまいけがの原因となります。

■ 庫内の壁に接しないようにする

※ワインが庫内の壁に接していますと、冷却された結露がボトルにつくため、
ワイン自体を凍結損傷させたり、ラベルを濡らしてしまうことがあります。
※庫内奥の壁は特に温度が下がりますのでワインが接していると低温劣化してしまう恐れが御座います。

■ 乾燥期の湿度

※冬などの乾燥期は庫内湿度が下がります。水を含ませたスポンジをトレーに入れ
庫内に置いて頂くことで湿度は上昇します。(専用トレーの販売は行っておりません。)

お手入れのしかた

ワインセラーを清潔かつ安全に、また永くお使いいただくために、
定期的な庫内清掃と電源プラグの点検を行ってください。

⚠ 注意

■ お手入れの前に必ず電源プラグを抜き、庫内を空にしてください。感電やけがの恐れがあります。
■ 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。
■ 本体やプラグに水をかけないでください。漏電や火災・感電の原因となります。
■ 電源プラグのほこりは定期的にとってください。ほこりは漏電や火災の原因となります。

■ 庫内・棚板・扉などの清掃

※柔らかい布で乾拭きしてください。
※汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いたあと水を含ませた布でよく洗剤を拭きとり、さらに乾拭きしてください。
※庫内底等のくぼみ部分は水が溜まりやすくなっております。
カビやほこり等で汚れやすいので定期的に清掃してください。

■ ドアパッキンの清掃

※汚れたままにしておくと傷みやすく、冷気漏れや結露過多の原因となります。
水拭きをして下さい。

■ ガラスの清掃

※梅雨の時期はガラスに露がつきやすくなります。定期的に拭きとってください。

■ セラー背面の清掃

※セラー背面の下部にあります圧縮機は熱くなっています。触れないようご注意ください。
また、冷媒の配管を傷つけてしまうとガス漏れを起こす危険性が御座います。ご注意ください。

⚠ 注意

清掃の際に、次のような製品を使わないでください

●**「アルカリ性」または「弱アルカリ性」の洗剤**
プラスチック製品にひびが入る恐れがあります

●**化学ぞうきん** 油分が付着した時は、必ず拭きとってください

●**みがき粉、粉石鹸、たわし、ナイロンたわし、研磨粒子付不織布などや、酸、ベンジン、シンナー、アルコールなどの薬品**
プラスチック製品に傷が付いたり塗装面を傷めます

お手入れの後は点検を

感電や火災などを防ぐため、お手入れ後は次の点検をしてください。

●電源コードに亀裂やすり傷がありませんか?
●電源プラグに異常な発熱などがありませんか?
●電源プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか?
●電源プラグをコンセントに差し込んで数時間後に、作動状態や庫内温度を確認してください。

故障かな?と思ったら

症　状	主な原因	点検・確認・処置
電源が入らない	電源コードがコンセントに根元まで差し込まれていますか？	しっかり差し込んでください。
	停電ではありませんか？	停電状態を確認してください。 ※P8「停電のとき」参照
	ご使用のコンセントに十分な電圧が供給されていない、またはコンセント内部で断線していませんか？	ご使用のコンセントに他の電気器具を繋ぎ、通電できるかお試しください。またはワインセラーを他のコンセントに繋ぎ、通電するかご確認ください。
よく冷えない	扉が半開きになっていませんか？	扉を完全に閉めてください。
	直射日光が当たる場所や、熱器具に近いところなど、周囲温度が高い場所で使用していませんか？	周囲温度に左右されるため、日陰や涼しい場所に移動させてください。
	製品の上部・背面・側面に放熱のための十分なスペースをとっていますか？	放熱のためのスペースを取ってください。 （上部・左右・背面に5cm以上）
	電源を入れてから十分に時間がたっていますか？	周囲温度その他の条件により、冷えるまで時間がかかることがあります。
保冷に時間がかかる	ワインを詰めすぎていませんか？	収納本数を少し減らしてください。
	熱いものを入れていませんか？	熱いものを入れないでください。
	扉の開閉が頻繁ではありませんか？	扉の開閉を極力減らしてください。
音がうるさい	本体が傾いたり、脚がガタついたりしていませんか？	水平でしっかりした床に設置し、脚の高さを調節して、ガタつかないようにしてください。
	本体の上にものがのっていたり、周囲のものと接触していませんか？	本体の上にはものを置かず、また周囲のものから離してください。
扉や庫内の結露が激しい	ドアの閉まりが悪くありませんか？	ドアの閉まりが悪いと外気が過剰進入し、庫内冷気との温度差により、結露します。
	高温多湿ではありませんか？	設置場所を変更してください。
	放熱スペースは十分に取れていますか？	周囲に十分な放熱スペースを確保ください。 または設定温度を上げてください。
庫内の凍りつきが激しい	設定温度が低い、もしくはワインセラー周辺の室温が高くありませんか？	氷や霜が付きすぎている場合は、必ず電源を落として溶かしてください。アイスピック等鋭利な道具を使用すると庫内壁が傷つき、冷却出来なくなる恐れがあります。
パネル表示が「50」前後になった	華氏表示になっていませんか？	パネルの(電球)ボタンを2秒押し続けると摂氏表示に切り替わります。
温度が上がらない	周辺温度が低すぎませんか？	ヒーター(加温)機能が付いていませんので、周辺温度が低い場合、つられて庫内温度も下がります。設置場所を変更して下さい。
湿度が上がらない	低温低湿ではありませんか？	湿度管理機能はついておりません。庫内に水を含ませたスポンジを入れたトレーを置くと湿度が上がります。

【注 意】本製品の故障または不具合によるワインの劣化・損傷についての補償は致しかねますので、運転状況や庫内温度、使用環境温度には十分にご注意ください。

正常な音

ブーンという音がする	コンプレッサーの作動している音です。
チョロチョロやボコボコという音がする	製品を冷やすための液が流れる音です。
カチッという音がする	作動 ON.OFF のスイッチ音です。

移動運搬時の注意　⚠くれぐれもお怪我のないようご注意下さい

■ 電源プラグを必ず抜いてください。
■ 電源を抜いてすぐは、背面機械部分は高温になっていますので、触れないで下さい。
■ 庫内のワインは、必ず取り出してください。
■ 背面機械部分付近にある水受け皿の水分がこぼれないよう注意ください。
■ 庫内の水分を十分拭き取ってください。
■ ガラス扉は、テープで固定してください。
■ ガラス扉を持って運ばないでください。
■ 冷媒回路（配管）を傷つけないよう十分注意ください。
■ 2人以上で運び、底の部分で手をはさまないよう十分注意してください。
■ 運搬時は横積みしないでください。
■ 天地はそのままに、水平を保ち運搬してください。
■ 移動後は24時間以上置いてから電源プラグを差し込んでください。

長時間使わないとき

■ 電源プラグを必ず抜いてください。
絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因となる場合がございます。
■ カビの発生やにおいを防ぐため、庫内を清掃し 2 ～ 3 日扉を開けて、乾燥させてください。

停電のとき

■ 扉の開閉をせず、庫内温度を保つようにしてください。
■ 予告のある停電の際は、氷を準備しておき容器に入れ、
庫内に入れると庫内のワインの温度が上がりにくくなります。

製品の主な仕様

種　　類	ワインセラー	冷却方式	コンプレッサー（R600a）
製品名	ルフィエール ENTRY18	収納本数	18本 ※一般的なボルドーボトル換算
有効内容積	50L	電動機の定格消費電力	85W
本体重量	20kg	電　　源	100V（50/60Hz）
外形寸法	W345 × D450 × H770(mm)	電源コード	1.8 m
付属品	ステンレス棚×5枚 柵×1個	設置場所推奨温度	18℃～32℃
		設定可能温度	5℃～18℃ ※加温機能は付いていません。

※仕様や外観は製品の改善のために、予告なく変更される場合がありますので、ご了承ください。
※庫内温度は、周囲温度や収納本数により、ばらつきが生じることがあります。
※表示温度の計測位置は庫内上から2/3あたりの位置にあり、
庫内上部や庫内下部では表示温度と約2℃前後の温度差が生じることがございます。

廃棄時の注意

■ 2001 年 4 月施行の家電リサイクル法では、
お客様がご使用済みのワインセラーを廃棄される場合は、
収集・運搬料金と再商品化の料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、
製品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが義務付けられています。

■ 廃棄される際は扉が密封できないように扉パッキンをはずしてください。
また、幼児が遊ぶ場所に放置しないでください。幼児が閉じ込められると危険です。

MEMO

保証書

品名 型式	ワインセラー ルフィエール ENTRY18	お買い上げ日　　年　　月　　日
お	ふりがな お名前　　様	保証期間　お買い上げ日より 本体 1 年、冷媒サイクル 5 年
	ご住所　〒	販売店名・住所・電話番号
	電話番号	

【保証規定】

本書は、本書記載の内容で、無料修理または交換をさせていただくことをお約束するものです。

1. 正常にご使用いただいたにもかかわらず保証期間中に故障した場合には、当該製品と本保証書をご提示の上、
   無償にて修理または交換させていただきます。
   ※ネットオークションなど正規ルート以外でお買い求めになった製品に関しましては、保証が適用されない場合がございます。
2. 保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
3. 次のような場合は、保証期間中であっても有料修理になります。
   ①不当な修理や改造による故障および損傷
   ②本書の提示がない場合
   ③火災、地震、津波、落雷、水害、その他の天災地変、異常気象、異常電圧、公害、異常電流による故障および損傷
   ④お買い上げ後の落下や運搬による故障および損傷
   ⑤消耗品の損傷や摩耗による交換
   ⑥本保証書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記載がない場合、あるいは字句を書きかえられた場合
   ⑦ワイン保管以外の目的に使用した場合の故障および損傷
   ⑧本書記載事項と異なる使用・操作によって生じた故障および損傷
   ⑨ご使用後のキズ、変色、汚れ及び保管上の不備による損傷
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本製品の故障または不具合によるワインの劣化・損傷についての補償は致しかねます。

保証書について

上記の保証書は、必ず「販売店名、お買い上げ日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より本体 1 年、冷媒サイクル 5 年です。

修理を依頼されるとき

P7「故障かな?と思ったら」にしたがい、お調べください。それでも異常があるときは、次の項目を販売店または弊社にお伝えください。
[・品名型式・ご購入年月日・故障の状況（できるだけ具体的に）・製造番号（製品庫内に記載）・お名前・ご住所・電話番号]

※保証期間中は…
　保証規定に従って修理または交換させていただきます。
※保証期間を過ぎているときは…
　お買い上げの販売店にご相談ください。修理を行う場合の部品代および全ての諸経費は、有償とさせていただきます。

【お願い】
一度ご使用になった製品は返品をお受けすることができませんので、予めご了承ください。但し、明らかに製品に不備・不良が認められた場合につきましては、代替品と交換する準備がございます。保管物その他への責任は、一切お受けすることができません。

お問合わせは

輸入元：　株式会社 都光
〒110-0005　東京都台東区上野 6-16-17 朝日生命上野昭和通ビル 1 階
TEL 0120−050−177　イズミセ内ルフィエール担当
営業時間／月曜日〜金曜日10：00 〜 17：00

2025.1